

# アフガニスタンの今

## 9.11 から20年



タリバンによる突然のアフガニスタン政権崩壊に、世界は衝撃を受けました。ニュースは武装したイスラム兵士や命がけで国を出ようとするアフガン難民、再び権利と自由を奪われるかと怯える女性の映像で溢れました。

タリバンとは？彼らはどのようにタンでは何が起きているのか？



して政権を掌握し、アフガニスそして私たちにできることは？

今回のセミナーは、これらのトをお迎えし、会場とオンライン。9月11日はタリバンの協力から20年の日です。一緒にアフガしている問題について考えましょう！

疑問にお答え頂けるパネリスのハイブリッド形式で開催し得たアルカイダのテロ攻撃かニスタンやタリバン、人々が直面



講師 キップ・ケイツ氏

鳥取大学名誉教授

タイム副会長。専門分野はグローバル教育、国際交流、異文化理解。中近東のヨルダンの国立大学で2年間勤務。



パネリスト 中尾和則氏

鳥取市用瀬町生まれ、子どものころから地図帳を眺めるのが趣味。マルコポーロやコロンブス、玄奘(げんじょう)法師等の冒険・探検の旅に憧れる。上海～ローマ間シルクロード15,000キロを横断、キリマンジャロ登頂、中国タクラマカン砂漠の楼蘭遺跡までラクダキャラバンで到達・横断等。戦後イラク、カンボジア地雷博物館、ナミビアヒンバ族の村、インドムンバイのスラム街等訪れ、現地の人々とのふれあいを重ねる。また、内閣府国際青年育成交流事業日本団団長として、日本の若者を率い、リトアニアを訪問。これまでにアジア、アフリカ、南米等世界80ヶ国を訪れる。1991年、2003年の2回アフガニスタン難民キャンプ等を訪れる。現在、鳥取地球人クラブ代表、鳥取県ユニセフ協会理事をつとめる。



パネリスト 山口敦史氏

鳥取大学農学部にて在学中に、インドやパキスタン、アラブ地域の農村をめぐり、農民が懸命に生きる姿に感銘を受ける。乾燥地農業を専攻し、卒業後は医療支援団体ベシヤール会の現地駐在員として、アフガニスタンにて農業用水路建設や農村開発事業に携わる。帰国後栃木県にあるアジア学院の教員として、有機農業の研究と実践を行う。2011年の震災を機に本当の豊かさや幸せについて疑問を持ち、避難生活を送りながら「地についた農業の力強さ」を身に沁みて感じる。人々に安全でほんとうにおいしい食べ物の提供を通して、健康な人と地域の創造を理想に、2014年美作の地で農業を始める。

日時

2021年9月11日(土) 13:30~15:30

会場

とりぎん文化会館2階第2会議室

定員

会場50名 オンライン50名

参加無料

要予約

主催

タイム(とっとり国際交流連絡会)

<https://sites.google.com/site/timetottori/>



【オンラインお申込み】

タイムHP

タイム 鳥取



【会場お申込み・お問い合わせ】

TEL 0857-28-5385(ケイツ)

コロナ対策にご協力をお願いします

